

2018年4月30日

2018東日本大震災被災地復興応援ツアーレポート

名古屋グランパスクラブ
荒川恭次

東日本大震災翌年より毎年開催し、今回で7回目となった被災地復興応援ツアーであるが、これまでは主に津波被災地で復興状況を確認し、地元の語り部さん等から話を聞いてきた。今回は原発被災地である福島で、当初海上より原発を見学する予定であったが悪天候により船が出航できず、急きょ現地ワイズの計らいでいわき市から国道6号線を北上し各方面の方々から現在の状況を聞くことができました。

なお、報告書内容は各資料にリンクしていますので、記載のURLをダブルクリックしてアクセスし資料をご覧ください。また、一部の資料は容量の関係から全編掲載してありませんので、全編をご覧になりたい方はお申し出ください。

1. 開催日：2018年4月14日（土）～15日（日）
2. 開催地：福島県いわき市から国道6号線を北上
3. 宿泊先：ルートインいわき駅前
4. 日 程：別紙旅程表参照

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/01_plan.pdf

5. 参加者（敬称略）：<http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/2018member.jpg>

(1) 名古屋グランパスワイズメンズクラブ

荒川恭次、荒川恒子、高田士嗣、高田師之子、早川政人、松原行謙、松原好伽、
吉田一誠、吉田えま子、ゲスト：柴田勝義

(2) 名古屋ワイズメンズクラブ

渡辺真悟、川本龍資

(3) 京都東稜ワイズメンズクラブ

大槻裕樹、大槻洋子、川島英雄、川島八千代

(4) 鳥取ワイズメンズクラブ

早川 悟

(5) 仙台広域ワイズメンズクラブ

清水弘一

(6) 仙台青葉城ワイズメンズクラブ

加藤重雄、加藤真子

(7) 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

村井伸夫（仙台YMCA総主事）

6. 訪問先および説明者

- (1) 第1日目は仙台空港より川上さんにY M C Aのバスに同乗いただき、今回の訪問先概要および福島現状について下記資料により説明を受けた。

川上直哉さん：石巻栄光教会主任担任牧師
NPO法人被災支援ネットワーク・東北ヘルプ事務局長
仙台青葉城ワイズメンズクラブメンバー

関連資料

- ①JELA NEWS (特に7頁参照)
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/03_jelanews.pdf
- ②Touhoku HELP News Letter No.13 (特に1頁参照)
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/03_newsletter13.pdf
- ③ミニ・ニュースレター (2017年クリスマス号) (特に4頁参照)
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/03_mininewsletter2017.pdf
- ④ミニ・ニュースレター (2018イースター号) (特に7頁参照)
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/03_mininewsletter2018.pdf
- ⑤原発事故の影響範囲
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/02_eikyo.pdf

- (2) 福島岩代屋敷大王本店にて昼食として美味しい蕎麦を食べました。その場で栗原さんよりキッズケアパーク福島活動について説明を受けた。その後放射能汚染土の仮置場を案内していただく。畑の中、公園の中に無造作に放射能汚染土が置かれていました。休憩箇所で美味しいわさびアイスを味わいました。



栗原清一郎さん：福島協会復興支援ネットワーク「キッズケアパークふくしま」推進委員会委員長

関連資料

- ①キッズケアパークふくしま (ニュースレターvol.14)
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/04_kidscareparkhukushima.pdf
- ②こどもあそびば
http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/04_kodomoasobiba.pdf

(3) 次の訪問先は、コーヒブレイクとしてカレッジ郡山代表の野口さんを訪ねる。昨年とは活動拠点を変えられた。1階は喫茶ルーム、2階に知的障がい、発達障がい児等を対象とした自律訓練所を開設された。



野口時子さん：福祉型専攻科「カレッジ郡山」代表

関連資料

①福祉型専攻科 新設 「カレッジ郡山」ご案内、スリーエー郡山

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/05_collegekori_yama.pdf

(4) 宿泊先ホテルにて管家さんより福島の実況について講義を受ける。原発事故の影響は今なお大きく、中部に住む我々には伝わっていない案件が多数あった。この後懇親会場に移動し、大いに呑んで食べて語って一日の疲れを癒しました。



管家新（カンケアラタ）さん：浜通り復興共同センター事務局長

関連資料

①福島原発事故での土壌汚染状況

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/06_dojyoosen.pdf

②福島原発事故とはどのようなものか

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/06_genpatujiko.pdf

③原発事故被災地視察用写真集

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/06_photocollectine.pdf

(5) 第2日目（15日）は朝より島田さんのガイドにより国道6号線を北上。天神岬公園では水平線を見ながら福島第二原発をバックに記念撮影。道中第一原発が近付くにつれ線量計の数値が上昇し町からは人が消えました。

島田栄三郎さん：管家さんと同所属。桜の開花宣言を行う方とか。常に線量計を持って計測されていました。



関連資料は(4)項参照

(6) 宝鏡寺の早川住職を訪ね原発事故の訴訟について原告団長の迫力のある話を聞いた。この現実の話も新鮮な驚きで貴重な情報を得ることが出来ました。なお、早川住職は放射能汚染土の仮置き場にご自身の畑を真っ先に提供されたとの事。



早川篤雄さん：「宝鏡寺」住職、「福島原発避難者損害賠償請求訴訟」原告団長

関連資料

①げんぱつ（第348号）

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/07_genpatu.pdf

②世代別帰還の意向

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/07_kikaniko.pdf

③「ベラルーシ・ウクライナの旅」報告書（表紙・裏面）

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/07_ukrainareport.pdf



(7) 最後の訪問先、相馬広域こころのケアセンターなごみで保健師をされている伏見さんに、こころのケア活動について話を聞きました。震災時には浪江町の保健師でご苦労されたこと等現在に至った経緯は下記資料をご覧ください。





伏見香代さん：「相馬広域こころのケアセンターなごみ」
保健師

関連資料

①孤立させない、結びつける、そして未来を共有する。

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/08_koritunasenai.pdf

②相馬広域こころのケアセンターなごみ

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/08_nagomiclub.pdf

(8) その他資料

①被災の実相、原発を巡る問題点、到達点

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/09_fromhukushima.pdf

②未来の人々へ

http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/09_tothafuture.pdf



浪江町は至る所が帰還困難区域で通行止めである。富岡町立富岡第一中学校の体育館は避難時のまま残されていた。立ち入り禁止なので窓越しに撮影。



3月13日の未配達の新新聞があった浪江町の新聞販売店。生徒全員が1.5 km離れた山に逃げ津波から避難できた請土小学校。

最後に、今回の「第7回東日本大震災被災地復興応援ツアー」の日程計画の作成と運営に尽力された清水ワイズ、加藤ワイズ、加藤メネット。また、全行程を仙台Y M C Aのバス運転手として我々を二日間の全行程運んでいただいた村井総主事には大変感謝致します。

以 上